

## 全員参加でまちづくりを

二瀬地区まちづくり協議会  
会長あいさつ

皆様益々、ご健勝のことと拝察します。ここにまちづくり広報誌4号をお届けします。

平成30年度も半ばを経過しました。皆様のご協力で、予定の事業は順調に実施できています。

しかし、残念なことに住民運動会は連日の猛暑などを考慮して、中止となりました。来年を期したいと思えます。

7月の飯塚山笠では二瀬流が「乾坤一擲（けんこんいってき）」で長年の願いを遂げ、順位を上げました。このことは二瀬全体の喜びであり、快挙でした。

今年の4月から、二瀬公民館が二瀬交

流センターとなりました。公民館は昭和24年から社会教育法に基づき、地域住民の教養向上などに寄与してきました。しかし、少子高齢化という社会構造の変化に対応するため、幅広く活動できるよう交流センターに移行しました。公民館の事業や役割は、移行後も継続します。

まちづくり協議会は交流センターを活動の拠点として、幅広い活動をしています。オール二瀬の力で、住みたいまち住みつけたいまちを創りましょう。皆様の参加をお願いします。

二瀬地区  
まちづくり協議会  
会長 緒方 健



## 叩いて電気起こし

科学実験クラブ

夏休み恒例の科学実験クラブを8月20日に行いました。



当クラブは、九州工業大学情報工学部の先生や大学生の協力を得て行っています。

対象者は、二瀬地区内の小学生3年から6年生で、科学に興味を持つよう工夫を凝らした内容となっています。今年は「たたいて電気を起こそう」と題して、12人の小学生が参加しました。

技術スタッフの説明の後、簡単な電子回路を組み立て、叩くことによって電気が作られる原理を学びました。また、誰が一番多く電気を作れるかの競争も行いました。

子どもたちは「面白かった。来年も参加したい」と喜んでいました。

(教育部会)

## 順位を4位に上げる

### 飯塚山笠

(報告: 二瀬流 山頭 小幡満明)

「ふたせ」のまちづくりの一環として、地域の振興と青少年の健全育成を目指し、活動を進めています。

7月15日に行われた飯塚山笠追山は飯塚の夏の風物詩、二瀬流は飯塚の街を疾風(はやて)のごとく見事に駆け抜けました。

7月6日、西日本豪雨災害に見舞われ、二瀬地区でも浸水など多くの被害がありました。このような時だからこそ、地域の励みになるように、流鼻き・子ども山ともに心を込めて、全日程を行いました。沿道での皆様の笑顔で、より一層の力が出ました。



追山当日、二瀬流の500余人は、七転八起の言葉に魂を込めて出陣しました。先走りの子どもたちは、真に迫っていました。大人たちはなおさらのことでした。そして、結果発表のとき、歓喜の声が二瀬まで届きました。順位を一つ上げた瞬間です。地域の皆様の期待に応えることができました。

ここに至るまでに、地域の皆様から多くのご協力とご支援を頂きました。この場を借りて、感謝を申し上げます。また、今後ともよろしくご支援を頂きますようお願い申し上げます。さらに、「ふたせ」のまちづくりの一翼をしっかりと担えるように、邁進していきます。

末筆ながら、皆様のより一層のご健康とご多幸を祈念いたします

### ■ 飯塚山笠 ■

	29年度	30年度
優勝	菰田流 09:19:89	東流 09:23:60
準優勝	西流 09:25:34	西流 09:25:61
三位	新流 09:43:76	菰田流 09:33:09
四位	東流 09:50:72	二瀬流 09:41:78
五位	二瀬流 09:53:97	新流 09:48:66

## 九工大生が学習支援

### 夏休み小中学校学習支援

8月23日からの5日間で、二瀬地区内の小学生・中学生に「夏休み小中学校学習支援」を行いました。

二瀬中学校では、5日間の日程で九工大生が数学を中心とした授業を教師と一緒にいき、数式の解き方を丁寧に説明していました。生徒からは「年齢が近いので、質問がしやすかった」などの感想が上がりました。

この内容について、NHKが23日の様子をテレビ放映し、西日本新聞が

24日の様子を26日の筑豊版に掲載しました。

伊岐須小学校では2日間、片島小学校では1日間の日程で夏休みの宿題のサポートを行いました。(教育部会)



## 食べることの大切さ

### 農業体験（田植え）

農業体験を通じて食の大切さを知るために、伊岐須小学校 6 年生 102 人が「田植え体験」を行いました。

まず、5月30日の学校開放日に、も



ち米作りの事前学習を行い、米の歴史や日本の食文化などを学びました。

6月21日には田植えを行い、まちづくり協議会や地元住民の方々から教えてもらい、ひとつひとつ丁寧に苗を植えました。子どもたちは「最初は出来ないと思ったが、慣れてきたらできるようになった」「自分たちがいつもおいしいご飯を食べられるのは、農家の人たちのおかげということが分かりました」などの声が聞こえました。

今後、11月に稲刈り、交流センターまつりでの餅配布、高齢者施設へのもち米配付を予定しており、来年1月に子どもたちが餅つきを行います。

(福祉部会)

## 自分で作る道具やカレー

### 夏休み寺子屋教室

7月22日に寺子屋教室を開きました。二瀬地区内の小学生16人が参加し、4班に分かれ、九工大生と一緒に活動しました。

午前には、のこぎりや小刀を使い、竹でお椀と箸を作りました。その後、自分で作ったお椀や箸で、素麺のほかフルーツなどが流れる清涼感いっぱいの素麺流しで、お腹を満たしました。

午後は、子ども達自らが買い物に行き、カレー作りに挑戦しました。何を

入れるかなどみんなで考えた特別なカレーで、調理から片付けまで取り組みました。最後に、試食会を開き、それぞれのカレーを味わいました。

子ども達からは「みんなで作ったカレーが美味しかった。お母さんの手伝いをしたい」などと声が挙がりました。(教育部会)



## 猛暑で開催中止も

### 各種球技大会・住民運動会



体育部会では、地域での親睦を深めるため、今年も様々な球技大会を予定しました。しかし、多くの大会が天候に恵まれず、中止となりました。参加予定者からは「この大会に向けて練習をしてきたのに残念だった」などの声が上がりました。

また、今年例年になく猛暑で、気象庁から高温注意情報も出されるなど、日々気温の高い状態が続きまし

た。そのため、熱中症等にならないように、9月2日に予定していた住民運動会を中止しました。(体育部会)

#### 【各種スポーツ大会の結果】

5/13 母子キックベースボール大会  
参加 5チーム

※雨天により途中中止。東川津、西伊岐須が市大会に参加

5/27 年齢別ソフトボール大会  
参加 9チーム

(Aパート優勝) 西伊岐須  
(Bパート優勝) 相田

9/9 職場対抗ソフトボール大会  
※雨天により中止

## 伝統を受け継いだ弁当

### 福祉弁当づくり

毎月1回、80才以上の一人暮らしの方に福祉弁当をお届けしています。活動は、二瀬地区ボランティアグループの「若草会」が行っています。会員は民生・児童委員、福祉委員、一般ボランティアで構成され、現在約50人です。

50人の会員が第3水曜日と木曜日にA班とB班に分かれ、2日で190食を作っています。献立、仕入れ、調理、配食の全てを行っています。

調理での衛生面に一番気を付けています。今まで事故なく行えているのは、調理している皆さんの心がけや努力のおかげです。

福祉弁当は月1回ですが、本当に楽

しみに待って下さっている方が多くいらっしやいますし、大変喜ばれています。先輩たちが残してくれた宝物「献立記録」が、とてもわかりやすく、ずっと受け継がれています。

長い若草会の活動の実績を守りつつ、健康に気を付け、明るく和気あいあいと楽しみながら活動を続けていきます。(福祉部会)



## きれいに、そして安全に

### クリーンキャンペーン 防災講演会

環境部会では、主に環境整備や防災・防犯活動を行っています。

3月10日に、九工大周辺を二瀬中学校の生徒、地区の保育園児、地域企業、25の自治会など、約280人が参加して、清掃活動を行いました。

中学生は日頃からの先生の指導もあり「自分たちが住むまちが少しでもきれいになれば」との意識を持って参加してくれました。また、終わった後

の飲み物に喜んでいました。

昨年に続いて、5月19日に防災講演会を行い、52人の参加がありました。7月の大雨の避難時も、講演会の成果が見られ、九工大へスムーズに避難できました。

防犯については、電話詐欺などがまだまだあり、地域の交番に、防犯に役立つ研修会の開催を相談しています。高齢化した社会では他人事ではありません。今後、スーパー店の前での防犯街頭活動も計画しています。

環境部会は、今後も環境整備・防災・防犯を念頭に持ち、意識を高める活動を行います。(環境部会)



← 清掃活動の参加者